

支援者芳名録

【平成28年8月～11月】

賛助会員名(敬称略)

澤田 ゆきみ、広瀬 雅幸、古本 和子、倉本 智里、村山 佳代子、関 英子 会費合計 18,000円

寄付者名(敬称略)

ぎやらりー Café 仁、匿名希望 1名 寄付金合計 50,000円
会費・寄付金合計 68,000円

賛助会員勧誘のお願い

新緑福祉会後援会(以下、後援会)は、社会福祉法人新緑福祉会(以下、法人)に対し、毎年、施設用地の取得に係る借入金償還金相当額540万円の財政支援をしています。また、各施設の建物改修、設備の更新等の経費に対しても、毎年、支援をしています。

さて、法人では、平成26年11月に、平成27年度から3年から5年で達成すべき中期計画を定めました。中でも、保護者・利用者の高齢化に伴い、当面の課題として短期入所施設の設置要望が高まっており、しあわせの村内に、重度・高齢化に対応したグループホームと短期入所施設を実現すべく、計画を進めています。新たに、施設の建設となりますと、更に多額の資金が必要となっており、資金集めに取り組まねばなりません。

そこで、後援会としては、厳しい社会情勢ではありますが、今後もさらに法人と連携し、収入の拡大に努めます。後援会の設立の趣旨にご理解を賜り、一人でも多くの新しい賛助会員のご勧誘をしていただきますよう、また、すでにご加入頂いております賛助会員の方々には、ご加入の継続をご推奨いたしますよう、お願い申し上げます。

- 年会費：(個人会員) 1口 3,000円、(団体会員) 1口 10,000円
- 振込先：郵便振込 口座番号：00960-2-145979、加入者名：新緑福祉会後援会 (1口以上のご寄付をお願いいたします)
- 新緑福祉会の HP(<http://www.shinryoku.or.jp>) に、後援会を関連機関として紹介しています。賛助会員についても掲載していますので、是非ご覧ください。

社会福祉法人新緑福祉会への寄付のご案内

当法人へ寄附をされた個人や法人は、所得税法及び法人税法による控除が受けられます。手続きは、寄附をされた年の確定申告時に、当法人が発行した寄付金領収証を添付してください。(詳しくは、法人事務局までお問合せ下さい。)

- 個人の場合
以下の限度内で所得税法の寄付金控除が受けられます。
(「特定寄付金の支出額」と「総所得金額等の合計額の25%」のいずれか少ない方の金額) - 5千円 = 寄付金控除額
- 法人の場合
次の限度額内で法人税法上の損金算入ができます。
《(期末資本金および資本積立金×事業年度の月数/12×2.5/1000)+(当該事業年度の所得金額×2.5/100)》
×1/2 = 一般損金算入額

編集後記

社会福祉法人新緑福祉会の機関紙の第2号をお届けします。ご多忙の中、原稿を寄せていただいた皆様へ感謝申し上げます。今後も、多くのご意見を拝聴しながら、より良いものに育ててまいります。併せて、ホームページもぜひご覧ください。

現在、法人の中期計画の具体化の第1弾として、しあわせの村での新規事業に取り組んでいます。この事業は行政、関係団体のご支援を得て、利用者・保護者・職員が一体となって具体化し、推進してまいります。現在は調査・設計の段階ですが、進捗の状況は紙面で逐次お知らせします。

お問い合わせ先 新緑福祉会本部 事務局内
〒651-2121 神戸市西区玉津町水谷字セリ合400-7 TEL.078-913-1277 FAX.078-913-1137



【発行】社会福祉法人 新緑福祉会 / 神戸市西区玉津町水谷字セリ合400-7 TEL.078-913-1277 FAX.078-913-1137 <http://www.shinryoku.or.jp/>



平成28年を振り返って

社会福祉法人新緑福祉会 理事長 平田 健次

平成28年は、地震や台風などの自然災害や相模原での大きな事件があり、大変な年となりました。この災害や事件は、知的障害者やその関係者にとって大きな不安をもたらしました。熊本地震、鳥取地震では障害者の避難所対応が問題になりました。相模原事件では重度障害者の存在価値が問われ、様々なところで議論になりました。

避難所での対応については、阪神淡路大震災、東日本大震災の時も同様でしたが、今回もまた問題が解決されず、障害者が避難所という特異な環境に適応できず、さらに、他の避難者に迷惑をかけるのを避けるため、結局は避難所の駐車場の車での生活を余儀なくされているとのことでした。

このような災害時に「安心して過ごせる居場所を提供できないか」新緑福祉会では、運営する5施設において神戸市の福祉避難所の指定を受けるべく準備を進めております。また6施設の利用者の事実上の避難場所として現在通所・入所する施設の運用も考えてまいります。通いなれた施設、職員のもと避難所生活が送れることが、利用者やそのご家族にとって一番の安心場所になることと思います。

また、相模原事件における「重度障害者の存在価値」です。我が家のこととなりますが、知的障害の長男のことについてです。老人クラブの行事に連れて行ったことです。クラブの会長さんから「昌弘さんは生き仏さんです。大切に育ててください。」この時は「子供に知的障害・身体障害というハンデキャップがあるので、注意

深く育てて下さい。」という意味に理解しておりました。

我が家は正月に親戚が集まり、新年会を行います。ある年の新年会の席で義理の姉から「こうして毎年、親戚皆が集まれるのは、昌弘さんがいるからです。みんなをつなぐ不思議な力を持っているね」とも。

また、過去に仕事で行き詰まり、精神的に参っている時期がありました。当時のワークホーム緑友の施設長の福永先生を訪ね、相談をしました。福永昭三先生曰く「そこに座って半日、利用者を見ていなさい」。そのとおり半日利用者を見て過ごすすと、何か吹っ切れたように立ち直りました。やはり不思議な力をもっています。

私自身の事例を挙げましたが、知的障害者はその存在自身が「仏」であり、周囲全般に「徳」を与えているのです。このことが、知的障害者の存在価値ではないでしょうか。

いろいろ私見を書きましたが、60歳を過ぎ、現職を離れ、長男と向き合う時間が増えるにつれ、私自身、長男に生かされていると感じております。と言いながらも、親なき後を考えると不安にもなります。このことも今後皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

社会福祉法人新緑福祉会は6施設、グループホーム3か所、障害者地域生活支援センター2か所、発達障害者相談窓口1か所を運営しておりますが、今後も知的障害者やその保護者の皆様に寄り添った運営をしてまいります。

神戸市ご当局、神戸市手をつなぐ育成会、新緑福祉会後援会、保護者、利用者の皆様、職員各位に、引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

娘と母の日々

ワークホーム緑友 保護者会 会長 山本 博子



知的障害のある娘、賀寿枝です。20歳の時にワークホーム緑友へ通うことになりました。

今年度、保護者会長という思いもよらない肩書きを引き受けることになりました。これまで色々な役をしてきた経験を生かし、また施設長のお力を頂きながら日々を送っております。

さて、我が娘、39歳です。丸山学園、市立幼稚園、小学校・中学校・高校は神戸養護学校。卒業後は自立センターひょうごで2年間。

そして19年前に緑友へ通うようになりました。山あり谷ありで現在に至ります。園で賢い分、家でイライラとわがママが出る娘です。親子共々、支援員に支えられる日々を送っております。このような娘ですが、とても優しく世話好きです。隣に住んでいる97歳重度(要介護4)のおばあちゃんのお世話を手伝ってくれて、助かっています。これからも娘のために私が一日でも元気でいられることを願うばかりです。

親子共々高齢化してきている現在。願っていた重度高齢化のグループホームが具体化されつつあり、ショートステイ、緊急時の対応にも期待しています。今後許可が下り、夢が実現されることを願っております。

ご寄贈いただきました

《大阪ガスグループ様より》 平成28年11月

パソコン寄贈プログラム「はじまるくん」のパソコン3台をご寄贈いただきました。玉津むつみの家、ワークホーム緑友、神戸市立ワークセンターいわやの3事業所で使用させていただいています。ありがとうございます。



《神戸市重度心身障害児(者)父母の会様より》 平成28年10月

去る10月、グリーンホーム平成の保護者に仲介いただき、神戸市重度心身障害児(者)父母の会様より、車椅子を2台ご寄付いただきました。新しく綺麗な車椅子を頂き、利用者・職員一同とてもうれしく思っております。ありがとうございました。



《株式会社大幸建設様によるステージ設営》 平成28年10月22日

「ごようきまつり」では、幅10メートルもの立派なステージを「株式会社大幸建設」様に設営していただきました。「ボランティア活動の一環として設営」というお申し出を頂き、本当にありがとうございました。前日の数時間にわたる設営、翌日のステージの解体など、多大なる労力を賜りました。当日はステージ上で、職員によるダンスやゲストでお呼びしたサンパチームのパフォーマンスを華々しくご披露でき、観覧された方にも大変喜んでいただきました。こうして、法人初のお祭り形式の交流会が盛大の内に終わりましたのも、大幸建設代表取締役の井上健太様と社員の皆様のご尽力によるものであると、感謝申し上げます。この度は本当にありがとうございました。



480個の風船

グリーンホーム平成 支援員 松野 清恵



ごようきまつり当日、カラフルな風船が飾られた中、サンバのお姉さんにホップにチューしてもらって大喜びの利用者さん。美味しそうにハンバーガーを頬張る利用者さん。ガールズトークで盛り上がるお母さん方。利用者さんの甥っ子さんと思われる小さな子が踊ってる姿。見れて良かったなあと思うと同時に、2年前の合同行事検討委員会の会議で、榎木施設長が仰ったことを思い出しました。「そもそも合同行事が始まったのは、新緑福祉社会が徐々に施設数を増やし大きくなっていく中、年に1度だけ6つの施設の利用者、保護者、職員が一同に集まり、転勤した職員や古くからの知り合いとお互いの元気を交わす場にしよう。そして、来賓の方や施設外にも新緑福祉社会の元気な姿をアピールしていこうと始まった行事だ」というお話です。

前日の設営、飾り付けの為、就業時間が過ぎても嫌な顔ひとつ見せずに頑張ってくれた実行委員、平成の職員。皆で「顎が痛い」と言いながら膨らませた風船。残り何個かなんて皆に悪くて言えませんでした。当日綺麗に揺れている風船を見て、いろんな想いが溢れました。

祭日当日、各飲食ブースを一手に引き受けてくれた栄養士の皆さん。缶バッジブース、各ゲームブース担当の職員、駐車場誘導係り、送迎・添乗職員、受付を担当してくれた事務職員と多くの職員が動いてくれました。

当日は朝5時から仕込みをして下さったイフスコヘルスケアの皆さん。無償で立派なステージを作って下さった大幸建設の皆さん。前日の夜21時過ぎまで設営をして下さいました。その他にも、シルバーカレッジや北区ボランティアセンターの方々、各施設に実習に来ていた学生さん達もボランティアとして関わって下さいました。大勢の人の思いや力があり、ご協力頂けたからこそ、行うことが出来た行事だと感じています。当日御礼を言えなかった人も沢山いらっしゃいます。改めてこの場を借りてお礼申し上げます。本当に有難うございました。

次年度以降の合同行事がどのような形になるのかまだ分かりませんが、また来年皆で笑って過ごせる1日を私は今から楽しみにしています。



防犯研修を開催しました

7月26日未明、神奈川県相模原市の障害者施設において、入所者が惨殺される事件がありました。くわしい事情はみなさんご承知のことと思います。同様の事業所である「とこはの家」としても楽観視できないことでもあります。

そこで、9月16日午後には神戸西警察から講師をお招きし、防犯教室を開催しました。法人内研修の位置づけで、とこは職員と法人内事業所の職員で防犯について学びました。最初に不審者に対する対応の仕方の実演を、続いて防犯についての意識づけの重要性、最後に防犯DVDを鑑賞しました。

【防犯についての留意点】

1. 防犯についての意識を常に持つ。
2. 不審者には1人で対応せず、複数で。取り押さえることは考えなくてもよい。
3. なるべく早く警察に通報する。

講義の内容を常に念頭に置き、業務に取り組んでいきたいと思っています。



不審者には近づかない



白川台ホームでの暮らし

東灘区の御影山手ホームから、こちらの白川台ホームに来て八年。女性専用のグループホームとして最初は三人から始まり、現在は六名入居しています。下は三十歳から、上は四十代。皆さんとても仲良しで、少々の意見の相違は話し合いですぐに解決しています。

毎週水曜日は掃除の日と決めています。仕事から帰ったら皆さん各自部屋の掃除に取り組み、お風呂の掃除は当番制で、洗濯干し、ストレッチ体操は毎日欠かさず元気にやっています。



食事も皆さん楽しみにしており、特にハンバーグ、鶏のケチャップ煮等は大好きで、残すことなくきれいに食べられます。それと、ホームの人達は、私が一言疲れたと言ったら、何も言わず肩を揉んでくれたり、指を切ったと言えば、バンドエイドを貼ってくれたり、本当に思いやりの心を持った人達ばかりです。私の望みとして、このまま明るく協力し合って暮らしてもらえたら充分だと思います。世話人として、これからも和気あいあいと安心して居れる場所でありたいと願っています。

白川台ホーム 世話人 中島 和代



ちゅうおう障害者地域生活支援センター ご紹介

ちゅうおう障害者地域生活支援センター 所長 田中 知恵子



当支援センターは神戸市から業務委託されており、西元町駅近くにあります。委託業務を行っている専任の職員は7名おり、一般相談支援のほか、「障害支援区分調査」「福祉サービス更新時の調査」「移動支援の調査」等を行い、「中央区自立支援協議会」というネットワークの事務局も担っています。また、特定相談支援事業所としての指定も受けており、「サービス等利用計画」の作成をしています。法人内他事業所の職員にも、当センターと兼任している職員が8名おり、法人内のサービス等利用計画作成に携わっています。

当センターでは児童から高齢者まで、また知的・精神・身体と様々な障がいのある方のご相談を伺っています。「高齢のお母様と2人暮らしの40歳代のご本人」、「精神障がいのあるご本人と小学生の子ども」、「一緒に住んでいたご家族が亡くなり1人で生活する知的障がいのある方」など、様々なご家庭があり、居宅介護（ヘルパー）やデイサービス、短期入所など様々なサービスを利用しつつ生活をされています。

利用しつつ生活をされています。

15年程前に比べると様々な福祉サービスが整ってきましたが、まだまだ、ご家族でがんばって介護を担っておられる家庭が多くあります。10年後、20年後、ご本人やご家族の高齢化を考えると、どう暮らしを支えていくか、危機感も感じています。お1人お1人の望む暮らしが実現できるよう、精一杯一緒に考えていきたいと思っています。

とこはの家の現在

とこはの家 施設長 玉井 弘二

とこはの家は開所して13年目を迎えました。数年ぶりに戻ってみると利用者の方の入れ替わりも何度かあり、ずいぶん様子が変わっていました。

まずは利用者の高齢化が進み、全体の1/3の方が60歳を超えています。また、病気を罹患されている方も増えています。以前出来ていたことができなくなった方も多くなっています。施設だけでは支えきることが難しく、外の方にも手伝っていただくことも念頭に置いて事業を展開していくことも必要と思われます。



本人を支える方も親御さんから兄弟、親戚、後見人さんと変わられた方が目立ち始めました。生活支援の内容も、介護・看護の比重が重くなっています。

そんな中ですが、今あるものをできる限り失わないように職員も一丸となってお手伝いしようと思います。これからも皆様のご支援よろしくお願いたします。



報告 法人内各事業所で実習等の受け入れを行いました(4月~11月)

神戸市立ワークセンターいわや

公益社団法人神戸市民間病院協会 神戸看護専門学校、神戸女子大学、筒井台中学校、武庫川女子大学、最高裁判所司法研修所 司法修習生

ワークホーム緑友

成年後見支援センター、神戸看護専門学校、神戸女子大学、須栄短期大学、神戸市保健福祉局総務部総務課、最高裁判所司法研修所 司法修習生
神戸親和女子大学、海星女子中学校、小部中学

グリーンホーム平成

神戸看護専門学校、青陽西養護学校、神戸女子大学、神戸特別支援学校、武庫川女子大学、神戸親和女子大学、最高裁判所司法研修所 司法修習生
友生支援学校、神戸特別支援学校、神戸女子大学、青陽須磨支援学校

玉津むつみの家

須磨ノ浦高等学校、常磐大学、兵庫大学、青陽須磨支援学校、玉津中学校

とこはの家

武庫川女子大学、神戸常盤大学

新緑の家

神戸女子大学、神戸学院大学、神戸市外国語大学、神戸看護専門学校、神戸常磐大学、夙川学院短期大学、武庫川女子大学、兵庫県立総合衛生学院

報告 講師派遣をしました。

青陽須磨支援学校「進路研修会」報告 平成28年9月9日

正心事務局長が、神戸市立青陽須磨支援学校の保護者を対象とした「進路研修会」の講師として招聘されました。テーマは「親なき後の生活」で、予定を上回る約120名の保護者の参加がありました。内容は、①卒業後の進路について ②障害基礎年金の受給について ③親なき後について、約45分間お話をしました。皆様、非常に熱心な様子でした。以下の資料提供をいただいた神戸市手をつなぐ育成会に、紙面を借りて御礼申し上げます。
※「願いの記録」「親心の記録」「障害基礎年金学習会」

神戸市バス西神営業所「講習会」報告 平成28年8月30日

新緑の家 川添施設長が、神戸市バス西神営業所にて、主に運転手を対象に、知的障害者についての講習を行いました。

中央区社会福祉協議会「ボランティア講座」報告 平成28年12月7日

ちゅうおう障害者地域生活支援センター 丸尾主任相談員が、これからボランティアを始める方を対象に「支援が必要な方への配慮方法」について説明しました。

青陽東養護学校「校内夏季研修会」報告 平成28年8月25日

なだ障害者地域生活支援センター 水田相談員が青陽東養護学校の教諭を対象に「障害福祉サービス」について講習を行いました。

第19回 大阪ガス労働組合(兵庫、姫路ブロック)主催

明友・緑友・平成 合同もちつき会インタビュー

日時：平成28年12月17日(土) 10:00～12:00 場所：ワークホーム緑友 駐車場

インタビュー 聞き手：(T)竹本 繁弘(グリーンホーム平成)

語り手：(M)向山 好一様(兵庫県議会議員)

(S)関 澄夫様(大阪ガス労働組合兵庫支部執行委員長)



T: 今年もお世話になります。今年で第19回となりますが、大阪ガス労組さんに続けていただいて19回目ということで、お間違いはないでしょうか？

M: そうです。思い起こせば、それまで開催を受けておられた川鉄労組(川崎製鉄阪神労働組合)の方から、引継ぎを受ける形で参加させてもらったことが始まりでした。

S: それが1997年(平成9年)だったので、翌年から我々が単独でさせていただいて19回目という訳です。

T: 来年が20回目という節目の年ですね。これまで続けていただいている中で、お感じになることなどあれば、お聞かせ願えますか？

M: 最初から携わっている我々は、年をとったなと(笑) もう、餅をつくのがしんどいね(笑) こうして若い人たち(社員とその家族)が来てくれるので、後に繋がって良かったと思っています。

S: 最初は10～20人くらいの人数だったし、餅を蒸す火力も今とは違って時間がかかって、準備が大変でした。当時を知る人はもう少数ですが、今日は社員の家族を含めて60名程が参加していますので、今では大所帯となりました。

T: これまでで、印象に残っている年などありますか？

S: ある年は、大雪で大変でした。自家用車で来た社員が、しあわせの村インターを出たところで車を置いて、歩いて来ていました。私も、西鈴蘭台で待てどもバスが来ないので、そこから歩いて来ました。

T: きっと、開始時間や終了時間もだいぶ遅れたでしょうね。

S: 今日みたいに、いつも良い天気にも恵まれたらいいんですけどね。

T: こうしてボランティア交流を続けて下さる中で、私たちに伝えたいことや、その他実感として何かありましたら、お聞かせ下さい。

M: 皆さんが年1回楽しみにされていることにお手伝いして楽しんでもらっていることは、我々にとっても嬉しいことですし、励みになります。また、入社1年目から2年目の若い社員に参加を呼び掛けていますが、研修としての目的も兼ねることが出来ているので、そういう意味でもいい機会になっています。

S: 若い人たちに、餅つきのノウハウも伝えていまして、これからも長く続けていけたらと思っています。

T: ありがとうございました。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。



ボランティア紹介

グリーンホーム平成 ボランティア 田中 田鶴子

あれは何年前でしょうか。当時私は、日曜と月曜が休みの職場にいましたので、月曜日を何か有効に利用したいと思っていました。

そんな折に、広報誌「こうべ」にボランティア募集が載っていたので、早速連絡をしたのが「平成」との出合いでした。一日見学をさせていただいて、五月の連休明けから通いはじめたのを覚えています。

最初はデイサービスのお手伝いで、元の保健室を使っていました。それからしばらくすると、本体と合同で行動をするようになりました。当時の河野所長は、偶然にも以前私の職場の上司でしたので、慣れない私にとって気持ちが楽でした。作業もいろいろありました。スティック型の調味料の箱入れや椎茸の菌の植えつけ、また、どんぐりの実を紙やすりで削って額のようなものも作りました。芝生広場での運動会や芋掘り、もちつきなど、いろいろ楽しいことばかりでした。

阪神淡路大震災に遭った時は、皆さん大変な苦労がありました。無事に復興できて再び活動が始まり、皆様の協力によって私のボランティア活動も現在に至っております。

至らぬ私ですが、これからも力の続く限り頑張りたいと思っていますのでよろしくお願い致します。“がんばりまます！”



平成28年度 新緑福祉会後援会 バザー活動報告

グリーンホーム平成 田中伸布子・高武美津子

1. こうべ福祉・健康フェア(しあわせの村)

- (1) 実施日時: 10月9日(日) 10:00～16:00
- (2) 売上報告: 80,870円
- (3) 参加者 : 20名
- (4) 活動報告: 新緑福祉会6施設の皆様のご協力で、沢山の寄贈品が集まり、お天気にも恵まれ、朝早くからお客様も見えて、販売開始の時間を待ちきれないといった人出でした。売る人も楽しく販売されていました。久しぶりに沢山の売り上げとなりました。ありがとうございました。



2. リサイクルバザー(しあわせの村)

- (1) 実施日時: 11月6日(土) 9:30～15:00
- (2) 売上報告: 46,910円
- (3) 参加者 : 13名
- (4) 活動報告: 当日は天気が悪く、空を見上げながらの販売でしたが、人出は多くてよかったです。古着や生活用品などを販売。今度いつ来るの? との声があり、新緑の店をおぼえてくれている様です。新緑福祉会の紹介パネルを見て質問される方もあり、啓発としても出店してよかったと思いました。お手伝いの保護者の皆様、一日ご苦労様でした。これからもよろしくお願い致します。



いわや's kitchen

神戸市立ワークセンターいわや 管理栄養士 前田 愛子

神戸市立ワークセンターいわやでは、“楽しく・おいしく・安全な給食”を目標に掲げ、日々利用者みなさんに給食提供を行っています。季節の行事食や選択メニュー、年に2回(夏・冬)のイベント給食、春には屋外でランチも行っています。

これに加え、毎月、生活班毎にリクエストメニューも実施しています。お魚よりもお肉のリクエストのほうが断然多いのですが、毎回みなさんにいろいろなメニューをリクエストしていただけるので、今では職員も楽しみのひとつになっています。

また、リクエストメニューでみなさんに好評だったメニューは、いわやの定番メニューに昇格したりもしています。

これからも利用者さんにとって、給食が楽しみのひとつでありますように・・・愛情いっぱい♡で給食を提供していきたいと思っております。



- ・とんこつラーメン
- ・高菜おにぎり
- ・揚げ餃子
- ・カルピスウォーター



- ・ごはん
- ・とんかつ
- ・みそ汁
- ・レアチーズケーキ